

発電所内のモニタリング状況等について (1～3号機放水路の状況について)

2016年11月24日

TEPCO

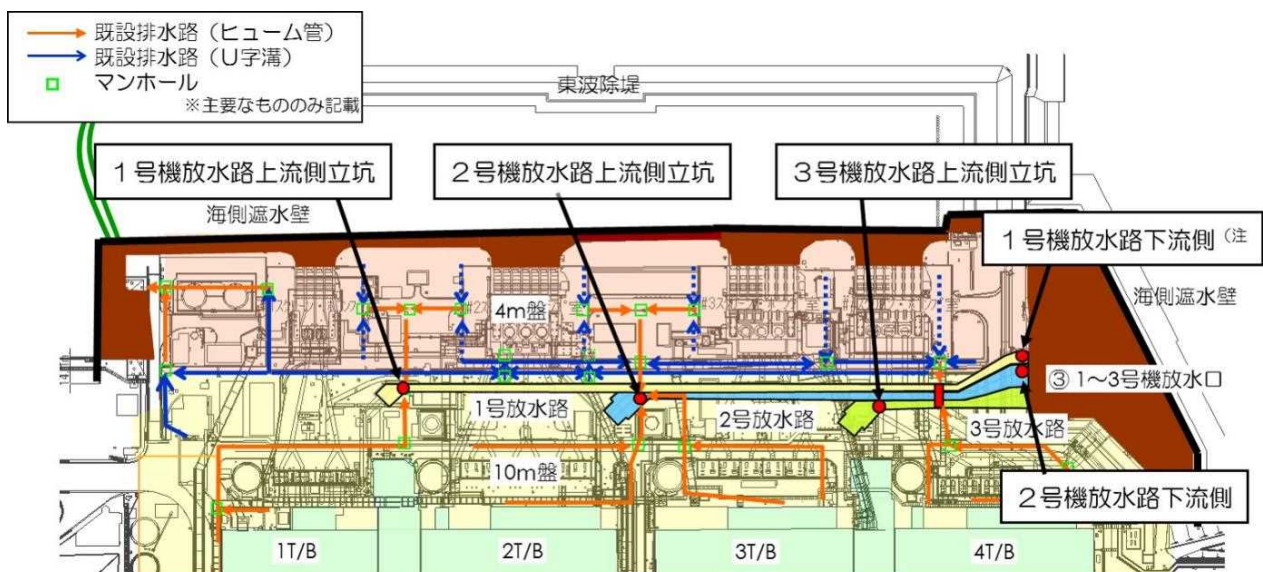
東京電力ホールディングス株式会社

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved. 無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

0

1～3号機放水路及びサンプリング位置図（平面図）

TEPCO



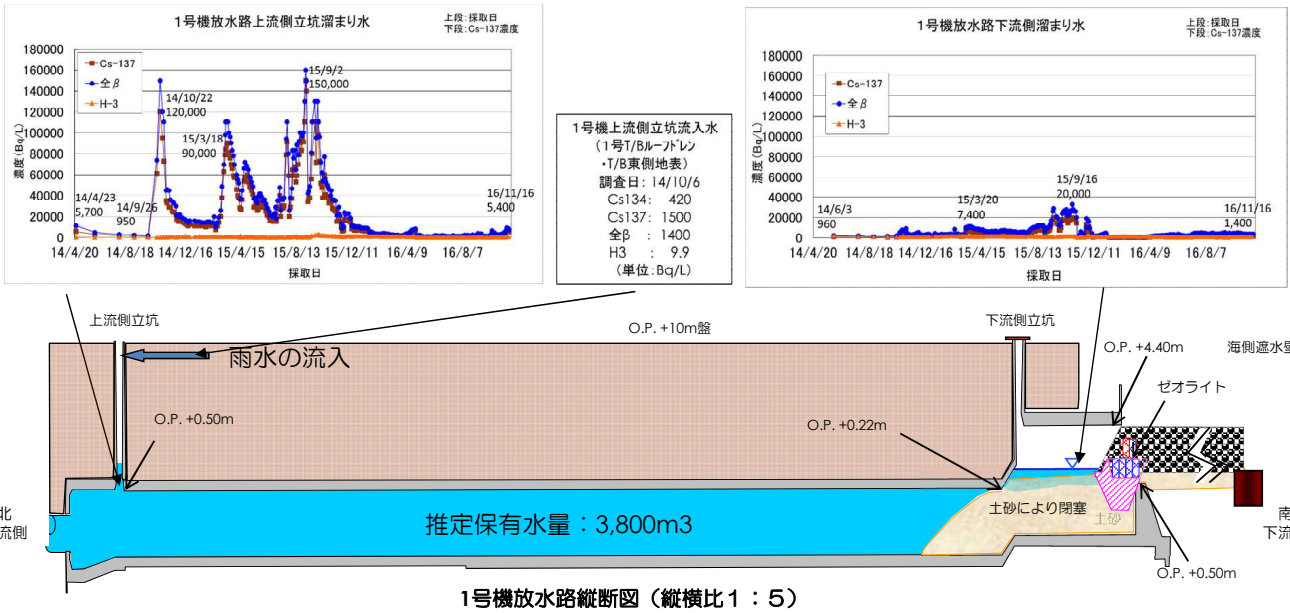
注：ゼオライト土のう設置（2月）以降、放水口から下流側立坑へのアクセス不可のため、放水口上部より採水

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved. 無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

1

1号機放水路サンプリング結果

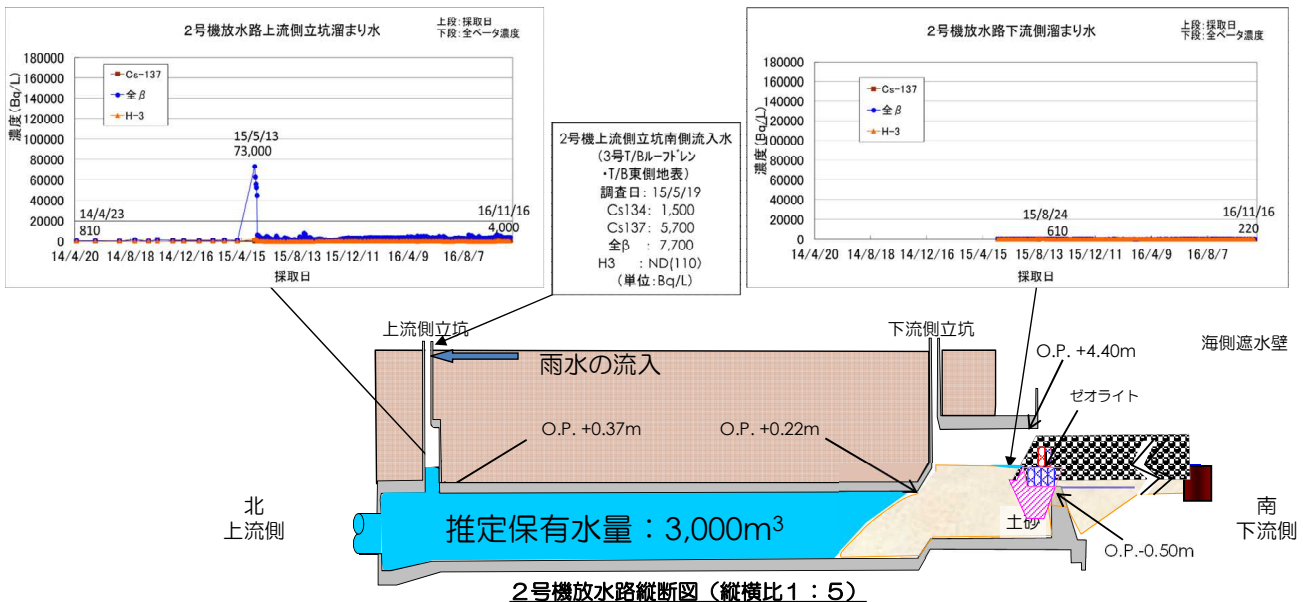
- 上流側立坑たまり水のセシウム137濃度は、5月以降1,000~2,000Bq/L前後で横這い状態であったが、10月中旬より上昇傾向。
- 下流側の溜まり水のセシウム137濃度も、上昇傾向は見られていない。当面監視を継続。
- 放水路浄化装置は停止中。



注：放水口へのゼオライト設置により、放水口内への立ち入りができなくなったことから、2015/3/20より放水口上部開口部から採水することとした。

2号機放水路サンプリング結果

- 2号機放水路上流側立坑の溜まり水の全ベータ濃度は、横這い状態で推移。降雨時に一時的にセシウム濃度の上昇に伴って上昇するものの、昨年5月のような急上昇はみられておらず、3,000~4,000Bq/L程度で推移。
- 下流側(放水口)の濃度も低濃度で、上昇は見られない。



- 3号機放水路 上流側立坑溜まり水のセシウム濃度は、降雨により若干の上下はあるものの、1,000~2,000Bq/L程度で推移。
- 引き続きモニタリングを継続する。

